

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	今後も人数とスペースの適正化を図り、机の配置等環境を整え、密を避り適切な距離の確保に取り組んでまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに入2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	今後も適切な人員を確保して、余裕のある人員配置を継続してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		現時点では車椅子利用の児童の利用契約はありませんが、室内、トイレはバリアフリーとなっており、車いすの移動にも対応出来るようになっております。駐車場、玄関に続く通路はバリアフリーになっておりまして、今後改善をしてまいります	生活空間は今後も個々の特性に応じた過ごしやすい環境であるよう安全への配慮をおこない、全ての児童の活動や支援に支障がないよう、移動しやすい空間設定を掛け、環境の整備に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		事業所内外の掃除を毎日おこない、定期的な換気もおこなっています。 机や椅子、玩具等の消毒も毎日徹底しておこなっております。	今後もブレイルームの机の配置を活動に合わせて変える等、児童が心地よく過ごせるよう配慮していきます。 事業所内の清掃や感染症予防の対策も継続しておこなってまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個人宅を改良した事業所なので、部屋が少し狭いですが、パーティションを利用し、集中して療育に参加出来る環境を確保しております。	今後も各部屋の机の配置を活動に合わせて変え、パーティションを効果的に活用し児童が心地よく過ごせるよう配慮していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		日々のミーティングや毎月のリフレクション会議で、気付きや支援の方法等について職員全員で意見を出し合い、現状の把握と目標設定をおこない、その内容をシートに記入し情報共有をおこなっております。	日々の申し送りや会議で継続して話し合い、情報共有の精度を高めていきます。 当日参加できなかった職員に対しては、記録を確認してもらい、必要に応じて質疑応答をおこない情報共有の徹底を図ってまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者様にご協力いただき、年1回アンケート調査をおこなっております。	今後もアンケート結果を踏まえ、職員間で話し合い、問題点を把握し、業務改善に向けて取り組んでまいります。
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		月に一度リフレクション会議を実施し、職員の意見を把握する機会を設けており、サービス提供時間前、時間後も利用し意思疎通を図っております。	日々の申し送りや会議で継続して話し合い、当日参加できなかった職員に対しては、記録を確認してもらい、必要に応じて質疑応答をおこない、意思疎通を図ってまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7		年度初めに年間研修予定を計画し、事業所内研修を実施しています。 定期的な研修の開催で職員の意識が向上できるように努めております。	感染症対策や接遇マナー、虐待防止、療育方法等の勉強を実施しており、新人職員も増えたので、必要に応じて外部研修にも積極的に参加してまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトににて公表しております。	定期的にプログラムの見直しをおこない、保護者様に説明すると共に、職員間で周知を徹底してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		保護者様との面談を通してニーズ等をお聞きする事で、保護者様の状態をアセスメントし、成長と発達に応じた計画を作成しております。	児童の状態に応じて送迎時や家庭連携等で保護者様とコミュニケーションを密に取りながら、日々変化する状況やニーズ把握に努めてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児発管と保護者様とのモニタリングの後、個別支援計画の原案の作成をおこないます。 作成後個別支援会議を実施し、計画を検討することで職員間の意識の共有を図っております。	定期的な個別支援計画の見直しと支援会議を行い、保護者様に説明すると共に、職員間で周知を徹底してまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		児童発達支援計画書に沿ったプランを、支援に携わる職員全員が共通認識となるよう共有を図っております。	今後も支援計画に沿った支援を提供できるよう、継続して認識の共有に努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		統一化されたアセスメントシートを使用し、内容を元に支援計画の作成へと繋げております。	今後も適切な期間にアセスメントをおこない、より良い支援計画が立案出来るよう努めてまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		保護者様とのコミュニケーションを密におこない、ガイドラインに沿った個々に必要な支援計画を立てており、保護者様に了承していただいております。	今後もガイドラインに沿って、概ね半年ごとにモニタリング、見直しをおこない、児童や保護者様のご意向を反映し、具体的な内容が設定された個別支援計画を作成してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		ケース会議で児童の特性や、活動内容の見直しをおこない、職員間で話し合い環境等を考慮し、チームで立案しております。	職員全員が日々の申し送りやミーティングでおこなう情報共有に努め、意見を交換しながら見直しをおこない、チームでの立案を継続してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		療育内容の見直しや話し合いを随時おこない、固定化しないようプログラムの工夫に努めております。	申し送りやミーティングでの話し合いで固定化を避け、長期休みでのイベントや季節ごとの活動、製作などを取り入れ、今後も変化に富んだ活動の立案を心掛けてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		児童の発達段階に合わせ、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しております。	今後も個別での療育を基本としながらも集団活動を組み合わせ、皆でおこなう制作や季節の行事等を通して、人との関わりを学ぶ機会をつくってまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝利用予定に基づき、当該児童について職員が意見を話し合い、支援内容や役割分担を確認しております。	今後も毎朝の職員間の打ち合わせで連携をおこない、当日の流れ、支援内容や役割分担について情報共有、確認のうえ、支援に取り組んでまいります。
関係機関や保護者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後は送迎等で全員参加にならない時もありますが、支援の途中で気付いた事や気になる事等職員間で伝えあい、共有しております。 共有内容は連絡ノートに記載し、不在の職員が何時でも確認できるようにしております。	今後も職員間で起こった事の共有をおこない、どんな小さな事でも意見を出し合い、全員で振り返りをおこなってまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の支援について必ず記録をおこない、更に体調や生活状況の変化についても記載し、職員間で情報共有をおこない、支援の改善に繋げております。	今後も毎日の記録の記入を継続し、どんな些細なことでも話し合って意見を出し合い、振り返りをおこなってまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的に必要なモニタリングをおこない、面談にて保護者様のご意向を踏まえ、児童の状況や課題などを話し合い、計画の見直しを判断しております。	今後も半年ごとの見直しだけではなく、日々の関わりの中で家庭連携や聞き取りをおこない、保護者様とは些細なことでも話しやすい関係づくりに努め、支援計画に反映させてまいります。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者会議には、児童の状況を一番把握出来ている児発管、管理者、その児童に多く関わりを持つ指導員や保育士、専門的支援をおこなう専門職員等が参画しております。	今後も全ての職員が情報の共有をおこない、チームとして参画してまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所の方の方について構築してまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		必要に応じて、電話や担当者会議等を通して情報提供や情報共有をおこない、支援方針の統一化を図り、より良い支援に繋がるように努めております。	今後も関係機関と連携して、支援内容等の情報共有と、相互理解を図ってまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		就学時の移行の際、保護者様と密に連携を取り教育相談等の結果を共有しております。 必要に応じて入学先の学校と支援内容等の情報共有と相互理解を図っております。	今後も関係機関と連携して、支援内容等の情報共有と、相互理解を図ってまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
保護者への説明等	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。		7	現時点では電話以外の助言や研修を受ける機会を持つにいたっておりません。	今後は関係機関の研修等へも参加し、助言を仰ぎ、研修等へも参加し、助言を仰ぎ、他の事業所とも密に連携がとれるよう努めてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7	現時点では事業所主催の交流の機会は企画出来ておりません。	保護者様のご意向を伺いながら、交流機会への検討をおこなってまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡ノートや送迎時に保護者様からお話を聞き、事業所での様子や課題について面談を活用して情報交換をおこない、児童についての共通理解を深めております。	今後も引き続き、保護者様と情報共有を密におこない、共通理解に努めてまいります。
	34	家族の対応力向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		送迎時や連絡帳のやり取りを通して、ご質問等への助言をおこなっております。 保護者様にも支援の内容を理解していただく、協力していただいた部分はご家庭でも取り組んでいただいております。	今後も継続して保護者様の取り組みに寄り添う支援をおこなってまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		保護者様のお話に寄り添う姿勢を大切にしております。 子育てや児童の発達の悩みなどのご相談には、話しかけやすい雰囲気づくりを心掛け、時にはご家庭への訪問等、保護者様の事情に合わせた支援に努めております。	今後も、保護者様のお悩み等について適切な助言を継続し、保護者様に寄り添った支援を心掛けてまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		定期的に必要なモニタリングをおこない、面談にて保護者様のご意向を踏まえ、日々の状況や課題などを話し合い、ご家族に提示し、納得のうえでの計画の作成をおこなっております。	今後も半年ごとの見直しだけではなく、日々の関わりの中で家庭支援や聞き取りをおこない、保護者様とは些細なことでも話しやすい関係づくりに努め、保護者様や児童の意思を尊重してまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		共有ガイドラインが示す支援内容と保護者様のご意向、利用児童の課題にしっかりと向き合い、詳しく説明をおこなううえで、保護者様より理解を得ております。	今後も保護者様のご意向や、児童の状況に応じて作成した支援計画について丁寧なご説明に努めてまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談が必要な助言と支援を行っているか。	7		保護者様のお気持ちに寄り添う姿勢を大切にしております。 子育てや児童の発達の悩みなどのご相談には、話しかけやすい雰囲気づくりを心掛け、時にはご家庭への訪問等、保護者様の事情に合わせた支援を図っております。	今後も、保護者様のお悩み等について適切な助言を継続し、保護者様に寄り添った支援を心掛けてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	現時点では父母の会を開催する機会を持つことが出来ておりません。	今後は保護者様のご意見を伺いながら保護者参加型の行事や、保護者様同士や保護者様と職員との交流機会を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情や申し入れには迅速に対応出来るよう努めております。 適切な対応が出来るように、些細なことも報告をおこなうよう心掛けております。 苦情をいただいた場合、全職員に周知し、ご意見と対応についての共通理解を図っております。	今後もご意見には、出来るだけ迅速な対応を心掛け、早期に問題を解決出来るように努めてまいります。
非常時等の対応	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			毎月の活動の様子の提示、季節ごとの会報の発行、隔月で公式Webサイトのブログにて活動、行事や成長の報告をおこなっております。	今後も情報の発信を継続かつ保護者様に案内し、児童の活動を知っていただけるよう努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意している。	7		個人情報管理を徹底しており、関連書類はすべて書庫に保管しております。 必要時以外は廃棄し、漏については運営管理責任者が管理をおこなっております。	今後も変わらせず、運営管理責任者が鍵の管理をおこなってまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童や保護者様の状況に寄り添い、言葉だけではなく、ジェスチャーやメモ等を用いて、分かりやすく情報を伝えられるよう配慮しております。	今後も連絡帳を充実させる等、お互いの情報バリエーションに交換し合えるように努力してまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	現時点では、事業所行事に地域住民を招待する様な企画はおこなえておりません。	現在地域との交流や親睦は実施出来ておりませんが、保護者様のご意向をうかがいながら、社会との交流を兼ね、避難訓練や地域連携等を検討してまいります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		緊急時対応マニュアル等を作成し、保護者様にも見えやすい場所に提示し、職員に周知徹底しております。	今後もマニュアルの充実と周知、訓練をおこなってまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		毎年年度初めに年間計画を立案し、地震、火事、風水害、不審者への対応などの避難訓練を定期的におこなっております。	今後も定期的に防災、避難訓練を実施し、児童が災害等に対して迅速に対応出来るよう防災意識を高める取り組みを継続してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		事前に服薬や発作等の情報について聞き取りをおこない、通院前後には症状を詳しく確認しております。 また、全職員がマニュアルに則った対応を熟知して、緊急事態に適切な対応がおこなえるよう配慮しております。	今後も情報は全職員が把握して、緊急事態には適切な対応がおこなえるよう配慮してまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	7		保護者様より面談時に詳しい情報をいただき、全職員で情報共有をおこなっております。 また、定期的な状況の確認をおこなって、情報を更新する等細心の注意を払っております。	今後も同様に、アレルギーについて全職員への周知を徹底し、食品の提供をおこなう場合には、細心の注意を払い、事故の無いよう配慮してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理に十分配慮し支援を行っております。	適時安全計画の見直しをおこない、避難訓練等も含めた安全な支援を提供できるよう、職員の見識を高めてまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		避難訓練の様子等安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を連絡帳や配布物を用いて、家族様と情報共有をおこなっております。	日々の活動の様子と合わせて、訓練の様子や安全対策について報告させていただき、個別での質問等にも対応できるよう周知に努めてまいります。
その他	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットの発生時にはその都度ヒヤリハット報告書を作成し、職員が振り返り、改善出来るようファイルに綴っております。	今後もヒヤリハットの事例記録を継続し、事故の再発防止に努めてまいります。 情報共有と認識の共有のため、都度振り返り心掛けてまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待に関しては、職員研修を年間計画に盛り込み、研修資料を元に虐待防止に関する勉強会をおこなっております。	虐待防止には、まず職員の共通理解が重要であると考えており、今後も繰り返し研修をおこない、虐待が起らないよう、全職員に周知徹底に努めてまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		現時点で該当者はおりませんが、利用契約書に身体拘束を禁止する明記しており、生命又は身体を保護するため、にやむを得ず身体拘束をおこなう場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ること、としております。 事業所では職員に対して身体拘束に関する事業所内研修と知識の更新をおこなっております。	拘束する可能性がある児童を受け入れることになった場合、原則として身体拘束を避ける基本姿勢を守り、緊急時（命に関わる事象が起きた場合、他手段が無い止むを得ない状況の場合）に限っておこなわれることを十分説明し、保護者様の同意を得て、個別支援計画にも記載を求めています。